

# 会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考			
本 部	8月26日(月) ~27日(火) 8月29日(木) ~30日(金)	土木計画学講習会	大阪・東京	8号3 参照			
	10月11日(金) ~15日(火)				昭和43年度全国大会	名古屋市外	8号2 "
	12月5日(木) ~6日(金)				第15回海岸工学講演会	福岡市	7号4 "
	北海道支部				9月6日(金) 10月4日(金)	秋季見学会	旭川市 札幌市
関 東 支 部	8月28日(水)	見学会	東京・外	7号13 "			
	9月11日(水)	見学会	千葉県	8号9 "			
	9月27日(金)	映画会	水戸市	8号11 "			
	10月2日(水)	講演会	土木学会	8号9 "			
	11月5日(火)	講習会	東京	8号9 "			
	11月13日(水) ~14日(木)	同	同	8号10 "			
中 部 支 部	8月16日(金) 9月6日(金)	技術講座 見学会	名古屋市 同	8号11 " 8号11 "			
	関 西 支 部	8月30日(金)	講演会	大阪市	8号11 "		
10月1日(火)		同	同	8号12 "			
西 部 支 部	8月22日(木)	夏期講習会	大分県	8号13 "			
	8月23日(金)	見学会	同	8号13 "			
そ の 他	8月20日(火) ~23日(金)	応力測定に関する講習会	岡山市	5号13 "			
	9月2日(月) ~3日(火)	第12回材料研究連合講演会	京都市	8号8 "			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■第3回「国土開発映画コンクール作品募集」</li> <li>■第13回水理講演会講演募集</li> <li>■第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム講演募集</li> <li>■第9回構造の軽量化に関するシンポジウム講演募集</li> <li>■構造物の設計における電子計算機の効果的利用に関する研究発表会論文募集(第14回橋梁・構造工学研究発表会)</li> <li>■第5回国際セメント化学シンポジウム</li> <li>■第13回国際水理学会会議</li> <li>■第5回災害科学総合シンポジウム講演募集</li> <li>■第15回風に関するシンポジウム講演募集</li> </ul>		8号2 " 8号2 " 8号3 " 8号4 " 8号4 " 8号4 " 8号6 " 8号7 " 8号8 "			

## 日本学術会議第8期会員選挙立候補者の推薦

本年11月に行なわれる標記選挙の立候補者の推薦につき、理事会において協議の結果、土木学会ではつぎの3名の方を推薦することになりましたので、お知らせ致します。(50音順)

(全国区第5部 土木工学)

石原藤次郎君 昭和5年京都大学卒 工学博士  
京都大学教授 専攻 河海工学

平井 敦君 昭和11年東京大学卒 工学博士  
東京大学教授 専攻 橋梁工学

(地方区第5部 土木工学)

板倉 忠三君 昭和7年北海道大学卒 工学博士  
北海道大学教授 専攻 交通工学

(酒井忠明君立候補辞退のため板倉忠三君を推薦)

## 土木学会 昭和 43 年度全国大会

◀ 10 月 11 日 (金) ~ 15 日 (火) ▶

「土木学会 昭和 43 年度全国大会」は、今年から総会と分離して、第 23 回年次学術講演会をはじめ、特別講演会、部門講演会、PR 講演会、懇親会、見学会をつぎの日程で名古屋市において開催することになりました。

懇親会、見学会、講演概要集購入などの申込み方法は、学会誌 7 月号をご覧ください。

- |                |                                 |                        |
|----------------|---------------------------------|------------------------|
| 1. 特別講演会       | : 1968 年 10 月 11 日 (金) 9 時~12 時 | 於 名古屋大学 豊田講堂           |
| 2. 部門講演会       | : " 10 月 11 日 (金) 13 時~17 時     | 於 名古屋大学教養部教室           |
| 3. 第23回年次学術講演会 | : " 10 月 12 日 (土) 9 時~17 時      | "                      |
|                | : " 10 月 13 日 (日) 9 時~17 時      | "                      |
| 4. PR 講演会      | : " 10 月 12 日 (土) 13 時~17 時     | 於 中電ホール                |
| 5. 懇親会         | : " 10 月 12 日 (土) 18 時~20 時     | 於 豊田ビル 6 階大ホール         |
| 6. 見学会         | : " 10 月 14 日 (月) ~ 15 日 (火)    |                        |
| 1 班            | 東海道方面 (伊豆長岡温泉泊, 小田原駅解散)         | 10 月 14 日, 15 日 (1泊2日) |
| 2 班            | 飛騨信濃方面 (平湯温泉泊, 松本駅解散)           | 10 月 14 日, 15 日 (1泊2日) |
| 3 班            | 伊勢志摩方面 (鳥羽泊, 蒲郡駅解散)             | 10 月 14 日, 15 日 (1泊2日) |
| 4 班            | 北陸方面 (宇奈月温泉泊, 高岡駅解散)            | 10 月 14 日, 15 日 (1泊2日) |
| 5 班            | 名古屋付近 (明治村, 日本ラインほか)            | 10 月 14 日 (日帰り)        |

### 第 3 回「国土開発映画コンクール作品募集」

土木学会は、昭和 39 年秋、昭和 41 年秋と 2 回にわたり「国土開発映画コンクール」を開催いたしましたが、この実績にかんがみて、今年も映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを広く周知させ、あすの国土開発に寄与したいと考えております。なお今回も、建設省ならびに日本国有鉄道のご後援を得て開催いたします。ふるってご応募下さるよう、また、関係の向におすすり下さるようお願い申し上げます。

これまでの優秀作品は土木学会「フィルム ライブラリー」として活用しており、年間の視聴者は 1 万名以上にのぼっております。今後も今回の優秀作品を含め土木学会はもちろん、一般の活用を推進する予定であります。

#### 第 3 回「国土開発映画コンクール」要領

1. 内 容 : 国土開発に関し、土木技術を主とした映画 (特定企業の宣伝色の濃いものはご遠慮下さい)
2. 規 格 : 16 mm カラートーキー (上映時間約 20 分以上) 昭和 41 年 11 月以降の作品に限る
3. 締 切 : 1968 年 9 月 30 日
4. 申 込 先 : 社団法人 土木学会総務課あて (申込書があります)  
(東京都新宿区四谷 1 丁目 電話 東京 351-4133)
5. 審 査 : 土木学会内 映画審査委員会
6. 賞 : 1 等 1 編, 2 等 2 編, 3 等 3 編 各賞ならびに賞牌 (ただし該当作品のない場合は変更することがあります)。
7. 発 表 会 : 1968 年 11 月 20 日 (東京都内)

### 第 13 回水理講演会講演募集

◀ 2 月 7 日 (金) ~ 8 日 (土) ▶

第 13 回水理講演会を下記により開催いたします。講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日 : 1969 年 2 月 7 日 (金) ~ 8 日 (土)
2. 会 場 : 発明会館 (東京都港区芝西久保明舟町 17 番地・地下鉄虎の門下車 3 分)
3. 課 題 :
  - i) 水資源系におけるシミュレーションの手法 (流量配分, 河道計画, 洪水調節などの問題)
  - ii) 浸透層内の流れ (非ダルシー流, 海岸地下水, 水理構造物周辺の流れを含む)
  - iii) その他
4. 申込み方法・その他 : 10 月 30 日までに講演題目, 講演者氏名 (連名の場合は講演者に○印をつける), 勤務先を明記し, 土木学会水理委員会宛, お申し込み下さい。折り返し, 原稿用紙をお送りいたします。
5. 講演原稿締切 : 12 月 5 日 (厳守)

## 第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム講演募集

土木学会コンクリート委員会ではここ数年来各製造会社よりの委託により構造用軽量骨材の試験研究を行なって参りましたが、その試験結果を中心に、さらに一般の研究者の研究結果も加えて下記により標記シンポジウムを開催することになりました。現在コンクリート用新材料として脚光を浴びている人工軽量骨材の使用法を中心に活発な論議を行なうことは斯界発展のため有意義なことと存じます。ふるってご応募下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969年2月下旬
2. 場 所：東京
3. 参加費：未定
4. 講演概要：実費頒布
5. 講演申込：講演希望者は講演題目、講演者名、勤務先、連絡先を明記のうえ、400字程度の内容梗概を付けて、11月10日までに土木学会コンクリート委員会にお申込み下さい。採用のうちは、1月10日までに所定の原稿用紙（全国大会と同じもの）2枚程度の講演概要の提出をお願いいたします。なお、採否はコンクリート委員会にご一任下さい。

## 土木計画学講習会

◀ 8月26日(月)~27日(火) ▶  
◀ 8月29日(木)~30日(金) ▶

土木計画学研究委員会では、これまで用いられてきた土木計画の手法をわかりやすく修得できるように、下記要領で第1回の講習会を開催することとなりましたので、多数ご参加下さいますようご案内致します。なお今回は、計画学の手法に関する分野のみが講習会の対象となっておりますが、順次他の分野にも幅を拡げて、いろいろな手法をご紹介します予定であります。

1. 期日・会場：大阪；1968年8月26日(月)、27日(火)；大阪科学技術センター 401号室・電 大阪(06) 443-5321  
大阪市西区靱1丁目 118/地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m靱公園隣  
東京；1968年8月29日(木)、30日(金)；土木学会土木図書館講堂・電 東京(03) 351-5130  
東京都新宿区四谷一丁目/国電・地下鉄四谷駅隣

2. 課 題：土木計画学の手法について
3. 題 目：講師および時間割

### (1) 第1日

9.00~9.10	開会のあいさつ		
9.10~11.30	土木計画問題のシステム化と定式化	京都大学教授	吉川和広
11.30~12.00	質 問		
(昼 休)			
13.00~14.30	調査方法および資料整理	東京大学教授	高橋 裕
14.40~16.10	同 上	建設省道路局	山根 孟
16.10~17.00	質 問		

### (2) 第2日

9.00~11.00	将来予測の一般論	岐阜大学教授	加藤 晃
11.00~11.30	質 問		
(昼 休)			
12.40~14.10	将来予測の手法	運輸省港湾局	高田 陸 朗
14.20~15.50	同 上	建設省河川局	首藤 和 正
15.50~16.40	質 問		
16.40~16.50	閉会のあいさつ		

4. 定 員：大阪会場 150名/東京会場 170名
5. 参加費：大阪・東京ともに/会員2000円/会員外2500円(ただし、ともにテキスト代を含みます)
6. 申込方法：大阪、東京両方とも、希望者は①氏名、②勤務先、③連絡先、④参加地の区別を明記して、参加費同封のうえ現金書留便でお申込み下さい。
7. 申 込 先：土木学会事務局編集課(東京都新宿区四谷1丁目・電話(03) 351-5130番)
8. 申込締切：1968年8月20日着便まで

## 第 9 回構造の軽量化に関するシンポジウム講演募集

—講演申込締切日 8 月 31 日 (土)—

1. 共 催: 強化プラスチック技術協会・軽金属協会・高分子学会・自動車技術会・日本造船学会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本航空学会
2. 日 時: 1968 年 11 月 29 日 (金)
3. 会 場: 土木学会土木図書館講堂 (東京都新宿区四谷 1 丁目)
4. 趣 旨: 最近, 強化プラスチック・軽金属・高張力鋼・サンドイッチ材および各種複合材など軽量化用構造材料の開発がすすみ, これに応じて土木・建築・車輛・船舶・航空 (宙) 機および各種産業機械の構造法・構造工学がかなりの変革をとげつつあります。ここに, 構造の軽量化という同一テーマのもとで, 9 学協会の各専門分野における研究成果を交換しあうことは誠に有意義であると思います。ふるってお申し込み下さい。
5. 講演申込方法:
  - ① 参加学・協会所属の会員は, 当該・協会を通じて申し込む。
  - ② 講演内容はすでに各学・協会で発表されたものでもよいが最近の研究に属するものが望ましい。
  - ③ 講演時間は, 20 分~30 分間とする。
  - ④ 申込用紙には, つぎの事項を必ず記載すること。
 

a 講演題目	b 梗概 (約 100 字)	c 講演者 (連名の場合は登壇者に○印をつける) の各氏名・勤務先・通信先・学 (協) 会員資格・年令	d スライドの有無
--------	----------------	-----------------------------------------------------	-----------
  - ⑤ 申込締切日: 1968 年 8 月 31 日 (土)
  - ⑥ 前刷原稿提出締切日: 1968 年 10 月 18 日 (水)
  - ⑦ 前刷原稿は所定の原稿用紙 (1443 字詰) 4 枚 (図表を含む, 写真不可) 以内とする。講演申込者には, 所定原稿用紙を送付します。

## 構造物の設計における電子計算機の効果的利用に関する研究発表会論文募集

(第 15 回橋梁・構造工学研究発表会)

今年度は下記により, 標題の研究発表会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 期 日: 1968 年 12 月 13 日 (金)
2. 共 催: 日本学術会議構造工学研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
3. 会 場: 土木学会土木図書館講堂
  - (1) 論文内容: 土木, 建築分野の各種構造物の設計における電子計算機の利用に関する新しい研究, および構造物の解析, 設計に電子計算機を用いていちじるしい効果をあげた独創的な報告を内容とした論文。
  - (2) 申込方法: 9 月 9 日までに論文題目, 発表者氏名, 勤務先および 100 字以内の内容梗概をそえて所属学会に申し込んで下さい。採否は学術会議の上記研究連絡委員会におまかせ願います。採用のうちは 9 月 20 日までに講演原稿の提出方をお願いいたします。

## 第 5 回国際セメント化学シンポジウム

◀ 10 月 6 日 (日)~12 日 (土) ▶

1. 会 議 名: The Fifth International Symposium on the Chemistry of Cement (V-ISCC)  
第 5 回国際セメント化学シンポジウム
2. 主 催 者: 社団法人セメント協会 (会長 井上英照)
3. 協 賛: 科学技術庁・通商産業省
4. 後 援: 日本学術会議・窯業協会・土木学会・日本建築学会・日本化学会
5. 会 期: 1968 年 10 月 6 日 (日)~12 日 (土) (7 日間)
6. 会 場: 東京文化会館 (上野)

7. 日 程:

日 次	午 前	午 後	夜
10月6日(日)	登 録 (パレスホテル)		レセプション (パレスホテル)
7日(月)	開 会 式	会 議	
8日(火)	会 議	会 議	
9日(水)	会 議	都 内 観 光	
10日(木)	会 議	会 議	晩餐会(ホテルニューオータニ)
11日(金)	会 議	会 議 閉会式	
12日(土)	東京近郊工場, 研究所見学		

東京近郊工場, 研究所見学は, 外人参加者を対象とし, つぎの3班とする。

1. 日本セメント株式会社埼玉工場見学
2. 秩父セメント株式会社熊谷工場ならびに小野田セメント株式会社中央研究所
3. 鹿島建設株式会社研究所, 東京工業大学工業材料研究所および小野田セメント株式会社中央研究所  
婦人プログラム

10月7日(月)午後  
8日(火)午前, 午後 } 都内において, それぞれ, 人形製作, 華道, 茶道の見学, 実習を行なう。  
10日(木)午前

8. 会議内容:

部 門	主 題	所 属	副論文数
第 I 部 門 セメントクリンカーの 化 学	I-1 ボルトランドセメント鉱物の構造	6	29
	I-2 ボルトランドセメント鉱物の相平衡と生成反応	9	
	I-3 ボルトランドセメントクリンカーの解析	12	
	I-4 アルミン酸カルシウムの化学	2	
第 II 部 門 セメントの水和	II-1 セメント水和物の構造と諸性質 (カルシウム シリケート)	—	33
	II-2 セメント水和物の構造と諸性質 (カルシウム アルミネート, カルシウム フェライト)	13	
	II-3 セメント水系の相平衡	—	
	II-4 セメント鉱物の水和反応機構	13	
	II-5 ボルトランドセメントの水和	7	
第 III 部 門 セメントペーストの 諸 性 質	III-1 セメントペーストの組織構造と物理的諸性質	15	34
	III-2 コンクリートの耐久性	10	
	III-3 コンクリートの中性化	3	
	III-4a 常圧高温におけるボルトランドセメントペーストの水和	3	
	III-4b 常圧高温養生したコンクリート		
	III-5 高圧高温養生したコンクリート	3	
第 IV 部 門 混和材料および 特 殊 セ メ ン ト	IV-1 コンクリートにおける界面活性剤の使用	5	28
	IV-2 フライアッシュおよびフライアッシュセメント	4	
	IV-3 スラグおよびスラグ系セメント	12	
	IV-4 膨張性セメントとその利用	7	
	IV-5 セメント凝結調節剤としての各種化学工業副産セッコウ	—	

4部門 20 主題 主論文 20 編 副論文 124 編  
副論文は総括報告形式 (General Report) 採用

9. 公 用 語: 英語 (講演発表)

10. 見 学 旅 行: 外人参加者を対象とする国内見学旅行 (会議後に行なう)

1. 箱根, 伊豆方面 (3日間) / 2. 京都, 奈良, 大阪方面 (4日間) / 3. 京都, 高松, 岡山方面 (5日間) /
4. 岐阜, 京都, 広島, 宇部, 門司, 福岡方面 (8日間)  
途中住友社岐阜, 大阪社伊吹, 宇部社宇部および小野田社小野田各工場見学

11. 会議参加者 (予想) : 参加国 40 ヶ国 : 参加人数 600 名 (外国人 300 名, 邦人 300 名)

## 第13回国際水理学会会議

(The 13th Congress of the International Association for Hydraulic Research)  
I.A.H.R

標記の国際会議は日本学術会議の主催で、京都において開催されることになりました。重要事項はつぎの通りです。会員、非会員を問わず広くご参加下さい。

1. 日時・場所：1969年（昭和44年）8月31日～9月5日  
京都市 国立京都国際会館（京都市左京区宝池）
2. 登録：サーキュラー No. 2（会員に配布）に示されている申し込み形式による。  
（非会員については別途考慮致します）
3. 報告形式：general reporter が行ないます（一般報告形式）。
4. 特別講演：3人の予定ですが、日本からは東北大の沼知福三郎名誉教授が行なわれます。
5. 研究課題：

A. Simulation techniques in water resources systems.

Principles and examples of application in systems of

1. water supply
2. water resources
3. rivers and channels
4. flood control.

The use of digital computers is included.

B. Poly-phase flows.

C. Estuary hydrodynamics and tsunamis.

Computations of propagation of tides and tsunamis.

Diffusion of salinity and heat in estuaries.

Transport of sediment by tidal motion.

D. Hydrodynamics of flow in porous media

The following questions are included:

1. Non-Darcy flow.
2. Salt water encroachment.
3. Flow through and under hydraulic structures.

6. 自由課題：受けられません。

7. 論文作成上の注意：

- a. 論文は1969年（昭和44年）1月1日までに事務局（7-k 参照）へ必着のこと。なお日本よりの提出論文についての延期は認められません。
- b. 言葉；英語または仏語
- c. 論文の長さ；概要を含み8ページ以内。single space で紙の片面のみにタイプすること。図、写真もページ上にきちんと配置すること（図の大きさは本項をみること。）
- d. 概要（synopsis）；概要は、右図のように第1ページに入るようにする。言葉は英語と仏語（つまり2種類になる）いずれも300語以内で第1ページに収めること。本文は必ず第2ページから始めること。概要には節または章の番号をつけないこと。
- e. 印刷；印刷は提出論文をそのままオフセット印刷にします。くれぐれも図、写真はきちんと論文中に収められるようご注意ください。
- f. コピーの数；原文の他に3部のコピーが必要です。
- g. タイトルと著者名；氏名と職名、勤務先、都市名、国名をタイトルの下にかく。つぎのような例を守って下さい。

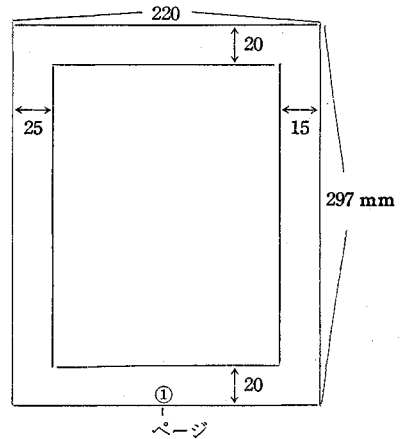
題目 _____  synopsis _____ _____ _____
--------------------------------------------------------

INTERNATIONAL ASSOCIATION FOR HYDRAULIC RESEARCH  
POLY-PHASE FLOW

BY .....

Professor, Director Institute for Hydraulic Research,  
City, Country

- h. タイプについて; タイプはエリート活字を用い, 必ず新しい黒リボンを用いること。紙の大きさ, および余白のとり方は右図の通り。
- i. 註とページ; 註および文献はそのページの下に横線で区切って打つこと。ページ番号は右図を参照のこと。
- j. 図表; 図の数は自由であるが, 全論文の 25% を越えないこと。図は必ずスミ入れをし, すり上りの 2 倍の大きさにかく。  
大きさは 340 mm×514 mm を越えてはならない。字の大きさは 3 mm 以上, 写真は鮮明なものとする。すべての図には, 番号を打ち, 本文中のそう入箇所にも対応番号をつける。  
説明文は英, 仏の両方とします。  
式は黒インクでかき, 記号の説明を落さぬよう注意下さい。
- k. 論文送り先: 論文はなるべく書留で, 下記へお送り下さい。  
郵便番号 606・京都市左京区吉田本町 京都大学工学部土木工学教室  
第 13 回国際水理学会議事務局 (電 075-771-8111 内 3732)



Professor Tojiro Ishihara,  
Chairman, Organizing Committee of  
the XIIIth Congress of the I.A.H.R.,  
Department of Civil Engineering,  
Faculty of Engineering,  
Kyoto, Japan.

- 8. セミナー; セミナー題目はつぎの通りです。
  1. Supercavitation;
  2. Laboratory and field measuring-techniques in research on hydraulic machinery and equipment;
  3. Variation in river morphology and their simulation;
  4. Generation and analysis of random waves.
- 9. セミナーについて: 会議前に詳細事項を配布します。セミナー発表希望者は発表文を前記の要領に準じ, なるべく短くまとめて 1969 年 4 月 1 日までに 7-k の送り先にご送付下さい。
- 10. 見学旅行: 見学旅行は, 4 コースを用意しています。くわしくは第 2 回目のサーキュラーにのります。
- 11. プログラム: その他, ここに定めていない事項については第 2 回目のサーキュラーで示します。  
問合せは, 7-k (京都大学) または東京工業大学工学部 吉川秀夫 (電 03-726-1111 内 2588) へお願いいたします。
- 12. プロシーディングス: プロシーディングスは B5 版で発行されます。
- 13. その他: 会議参加費は会員 \$ 35, 非会員 \$ 50 および同伴会員 \$ 15 です。この機会に I.A.H.R. 入会ご希望の方は, 土木学会 (郵便番号 170・東京都新宿区四谷一丁目 電話 351-5138) へご連絡下さい。申し込み書をお送りいたします。

第 5 回災害科学総合シンポジウム講演募集

文部省科学研究費特定研究の災害科学総合研究班が中心となり, 災害科学に関する研究発表と討議の機会を提供する目的をもって, 下記により総合シンポジウムを開催いたしますので, 本学会はこれを後援することにいたしました。ふるってご参加下さるようご案内します。

1. 期 日: 1968 年 11 月 11 日 (月) 10.00~17.00 12 日 (火) 9.00~12.00

2. 場 所：東京都台東区上野公園 国立科学博物館

3. 講演申込要項：

- (1) 内 容：異常気象，強風災害，雪氷災害，河川災害，海岸災害，津波高潮，地盤災害，地震予知，地震動災害，火山噴火予知，農林災害，その他
- (2) 講演申込締切：7月31日，講演題目，氏名，勤務先および講演内容の概要（400字以内）を記し，下記宛に申込むこと。
- (3) 講演要旨の提出：締切 8月31日 所定の用紙2枚または4枚（図表を含む）の講演要旨を下記宛提出のこと。  
用紙は請求次第送付する。
- (4) 申 込 先：郵便番号 113 東京都文京区弥生 1-1-1 電話 (812) 2111 (代表) 内線 4497  
東京大学地震研究所 大沢 胖教授

## 第12回材料研究連合講演会

◀ 9月2日(月)～3日(火) ▶

例年のとおり，標記の講演会が日本学術会議材料研究連絡委員会および関係 21 学協会の共催によって，下記要領で開催されます。プログラムをご希望の方は，土木学会総務課までお申し込み下さい（無料）。

1. 場 所：京都大学工学部土木総合館
2. 講 演：113 題
3. シンポジウム：7 題
4. パネルディスカッション：11 題
5. 特別講演：「結晶固体，非結晶固体および混合固体の破壊と疲労の類似性と相違性について」 東北大学工学部 横堀武夫
6. 懇 親 会：会費 600 円
7. 講演論文抄録集：900 円（予約申込に限り 800 円）
8. 申 込：懇親会および講演論文抄録集の申込みは，8月20日までに代金を添えて，郵便番号 606 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 社団法人 日本材料学会までにお申し込み下さい。

## 第15回風に関するシンポジウム講演募集

標記シンポジウムを下記により開催いたしますので，講演をご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1968年11月18日(月)
2. 開 催 地：京都(会場未定)
3. 講演申込期日：9月18日
4. 申込方法：9月18日までに題目，氏名，勤務先，連絡先，スライドの有無を明記し，土木学会または所属学会宛お申し込み下さい。
5. 共 催：土木学会，日本地理学会，日本農業気象学会，日本航空学会，日本海洋学会，日本林学会，日本建築学会，日本地震学会，日本気象学会(幹事学会)

## 北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階 電話 0122-25-7038)

### (1) 研究発表会論文・報文募集

北海道支部年次研究発表会(44年2月下旬)に発表の論文または報文をつぎの要領で募集します。奮ってご投稿下さい。

1. 発 表：支部刊行「研究発表会論文集第25号」として本印刷にして収録する。
2. 内 容：土木工学・同技術・工事報告などの報文
3. 応 募 方 法：応募される方は，9月末頃までに，題名，所属，氏名を支部事務局へ電話または郵便で申込みのこと。ただちに，専用の原稿用紙，執筆要領をお送ります。
4. 原稿の締切：1968年11月20日
5. 支部奨励賞：選考のうえすぐれたものに対しては支部総会でつぎの賞を授与する。



- ① 賞状 ② メダル ③ 賞金 1 編ごとに 1 万円

(2) 秋季見学会

1. 旭川地区：(1) 期 日：1968 年 9 月 6 日 (金) 日帰り (雨天決行)  
(2) 集 合：旭川駅前  
(3) 見学工事：①嵐山トンネル (国鉄) ～②旭川大橋 (開建) ～③新旭川操車場 (国鉄) ～④岩尾内ダム (開建)
2. 札幌地区：(1) 期 日：1968 年 10 月 4 日 (金) 日帰り (雨天決行)  
(2) 集 合：大通りテレビ塔下  
(3) 見学工事：①国道 230 号線道路改良および橋梁工事 (開建) ～②豊平峡ダム (石建) ～③札幌、支笏湖線道路改良および自転車道 (道) ～④支笏湖有料道路 (道) ～⑤苫小牧港および日軽金苫小牧支社～⑥原真土えん堤
3. 参加料：各地区共会員 500 円，学生会員 300 円，一般 700 円 (各前納)
4. 定 員：各地区 50 名……申込順に締切
5. 締切期日：各地区共開催期日の 4 日前
6. 乗 物：観光バス
7. 申 込 先：支部事務局 (札幌市南 1 条西 2 丁目 勸銀ビル 5 階 電話 (25) 7038)

関東支部行事案内

(郵便番号 170 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会総務課内)  
電話 (03) 351-4133

(1) 京葉工業地帯見学会

◀ 9 月 11 日 (水) ▶

1. 定 員：50 名
2. 参加費：600 円
3. 集 合：9 月 11 日 (水) 9.30 国鉄千葉駅前
4. 見学コース：(荒天の場合一部変更することがあります)  
千葉駅前～千葉中央地区埋立地食品コンビナート～三井造船ドック建設工事～シーバース～八幡製鉄君津製鉄所  
建設工事～東京湾横断橋架橋予定地点～千葉駅前
5. 解 散：9 月 11 日 (水) 17.50 国鉄千葉駅前
6. 申 込：勤務先、氏名、連絡先を明記のうえ参加費を添えて、土木学会関東支部あてお申込み下さい。  
満員になり次第締切りますから、早目にお申込み下さい。

(2) 「関門架橋と青函トンネル」講演会

◀ 10 月 2 日 (水) 13.30～16.50 ▶

1. 日 時：1968 年 10 月 2 日 (水) 13.30～16.50
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. 定 員：150 名
4. 参加費：無 料
5. プログラム：
 

13.30	あ い さ つ	
13.40～15.10	関門架橋の概要	土木学会 関東支部長
15.20～16.50	青函トンネルの概要と問題点	日本道路公団 理事 村上 永一
		日本鉄道建設公団海峽線調査部 青函調査課長 原 島 龍一
6. 申 込：往復はがきでお申込み下さい。返信用はがきを参加券としてお送りいたします。満員になり次第締切ります。

(3) 「新しい橋梁施工技術」講習会

◀ 11 月 5 日 (火) 9.20～16.10 ▶

最近話題になっている橋梁の新しい施工技術として、大支間吊橋の建設のための 2 種類のケーブル架設工法、都市の美観に適合した PC 高架橋の建設のためにドイツから導入したピルツ工法および長支間桁橋において広く採用される気運にある鋼床版の現場溶接施工法の 4 題をとりあげ、講習会を開催いたします。関係技術者多数のご参加をのぞみます。

1. 日 時：1968年11月5日(火) 9.20~16.10
2. 場 所：安田生命ホール(東京都新宿区角管 2-74, 電話 03-342-6705)
3. 定 員：400名
4. 参 加 費：2000円(テキスト代を含む)程度の子定
5. プログラム：
 

9.20~9.30	あ い さ つ	土木学会関東支部長
9.30~10.50	① 平行線ケーブル工法による吊橋架設	八幡製鉄(株) 建材開発室 安井三雄
11.00~12.20	② ビルツ工法による高架橋の施工	鹿島建設(株) 土木設計部PC課長 吉田正香
13.20~14.40	③ パラレルワイヤーストランドによる吊橋架設	{富士製鉄(株) 道路橋梁技術課長 田辺末信 {富士製鉄(株) 長大橋開発班長 東田信安
14.50~16.10	④ 鋼床版橋の現場溶接施工	首都高速道路公団工務部第二設計課長 中村正平
6. 申 込：参加費、テキスト代の決定額とともに9月号でお知らせいたしますが、予約申込(適宜の方法で)をしていただければ優先受け付けいたします。

#### (4) 「シールド工法と沈理工法の施工上の問題点」講習会

◀ 11月13日(水)~14日(木) ▶

シールド工法は、最近、都市内において路面交通の支障を少なくしてトンネル工事を進めるといふ時代的要求も加味されて、地下鉄道、上下水道、電力通信用河道等の建設に急速に採用されるようになったが、すでに初期の模索の時代を過ぎ、現在は過去の実施例に対する反省と、将来の飛躍のための技術の蓄積の時期にある。今回は、主として現場における貴重な体験から生まれたデータ、問題点、反省点などについて各分野の専門の方々が発説します。

一方、沈埋トンネルは、外国では500m以上のものが、すでに10本あり、サンフランシスコ湾においては、長さ5800mの鉄道トンネルを建設中である。わが国では、小規模のものは既存するが、今回東京湾岸環状道路および東京外環状京葉線(鉄道)のうち東京港付近において行なわれることになった大がかりな沈理工法についてその全貌をそれぞれの専門の方から解説します。施工にかぎらず関係技術者の多数ご参加をのぞみます。

1. 日 時：1968年11月13日(水) 9.10~16.00  
14日(木) 9.20~16.00
2. 場 所：安田生命ホール(東京都新宿区角管 2-74, 電話 03-342-6705)
3. 定 員：400名
4. 参 加 費：3000円(テキスト代を含む)程度の子定
5. プログラム：
 

(第1日)		
9.10~9.20	あ い さ つ	土木学会関東支部長
9.20~10.00	① 最近のわが国のシールド工法の傾向とソ連のシールド工法の現状	帝都高速度交通営団建設本部設計部長 西嶋國造
10.10~11.20	② 「機械化シールド施工上の問題点」川崎市導水路工事について	川崎市水道局工務部長 坂根稔一郎
11.30~12.30	③ 「機械化シールド施工上の問題点」東電地中電線路工事について	東京電力(株) 工務部地中線課 吉川新吉
13.30~14.30	④ 特殊条件下の下水道シールド工事について	東京都下水道局建設部設計第一課長 松岡正次
14.40~16.00	⑤ 地下鉄第9号線外神田付近砂地盤中のシールド工法について	帝都高速度交通営団9号線第4工事区長 塚田章
(第2日)		
9.20~10.40	⑥ 東海道線、総武線線増工事におけるシールド工法について	国鉄東京第一工務局線増第一課長 山口良雄 " " 地下鉄線課長 宇野浩彰
10.50~12.10	⑦ 地下鉄第1号線二本榎におけるシールド駅の築造について	東京都交通局高速電車建設本部建設部工事課長 駒田義雄
13.10~14.30	⑧ 「沈理工法における施工上の問題点」東京湾岸環状道路について	建設省関東地建首都道路調査出張所長 布施洋一
14.40~16.00	⑨ 「沈理工法における施工上の問題点」東京外環状京葉線について	日本鉄道建設公団東京支社環状線第二部長 大平拓也
6. 申 込：参加費、テキスト代の決定額とともに9月号でお知らせいたしますが、予約申込(適宜の方法で)をしていただければ優先受け付けいたします。

(5) 映画会 (茨城県)

◀ 9月27日(金) 10.00~14.10 ▶

1. 場 所: 水戸工業高等学校図書館 (水戸市元吉田町)
2. 上映映画: ① よみがえる川  
② 名神高速道路  
④ 砂 防  
③ 渋谷ディビダーク橋
3. 参加費: 無 料

中部支部行事案内 (郵便番号 460 名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 建設省中地方建設局) 企画室 電 (052)-962-6311 内線 375

(1) 第1回技術講座

◀ 8月16日(金) ▶

1. 日 時: 1968年8月16日(金) 9.00~17.00
2. 場 所: 愛知県建設業会館 名古屋市中区栄 3-28-21
3. 定 員: 100名
4. プログラム: 9.00~9.05 支部長挨拶  
9.05~10.35 波理論とその計算 名古屋工業大学教授 細井正延  
10.40~12.10 内水解析例 名古屋大学教授 西畑勇夫  
13.00~14.55 低水流出解析 名古屋大学助教授 高木不折  
15.00~16.55 水理計算における差分法の適用 名古屋大学教授 足立昭平  
16.55~17.00 幹事長挨拶
5. 会 費: 500円
6. 申 込: 1968年7月31日(水)までに中部支部に会費を添えてお申込みください。  
なお、申込み多数の場合は期限前でもお断りすることがありますからご了承ください。

(2) 第2回見学会

◀ 9月6日(金) ▶

1. 日 時: 1968年9月6日(金) 9.00~17.00
2. 見学先: 名古屋港港湾施設の建設と利用の現況・工業港建設現場
3. 集合場所: 名古屋テレビ塔
4. 内 容: 9.00 テレビ塔前出発→中川運河→9.40 運河事務所着マイターゲート開閉見学→10.00 名古屋港管理組合 名古屋港の概要説明 中央埠頭見学→昼食→12.30 中央埠頭船溜出発 (港内遊覧船)・稲永埠頭 (外貨専用)→鉄鋼埠頭九号地 (石油基地)→トヨタ岩壁 (自動車専用)→南部臨海工業地帯 (富士製鉄その他)→知多火力→高潮防波堤→西部臨海工業用地 ←木材港→金城埠頭 (建設現場)→16.30 金城埠頭出発 (バス) 17.00 テレビ塔前着解散
5. 定 員: 100名
6. 会 費: 200円
7. 申込方法: 8月20日(火)までに中部支部へ会費をそえてお申し込み下さい。なお、期限前でも定員になり次第しめきりです。

関西支部行事案内 (郵便番号 537 大阪市東成区中道元町1丁目 149番地) 電話 (06) 981-2510 番 振替口座大阪 82599 番

(1) 講演会「えびの、日向灘および十勝沖震災の検討」

◀ 8月30日(金) ▶

1. 日 時: 1968年8月30日(金) 9.00~16.30
2. 場 所: 大阪科学技術センター4階 401号室 電話 大阪(06) 443-5321  
大阪市西区靱1丁目 118 地下鉄3号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角
3. 題目と講師:
 

1. 地震の特性と地盤・構造物の応答	京都大学教授工学部 工博 後藤尚男	
2. 地震災害の調査結果	京都大学助教授防災研究所 工修 土岐憲三	
3. 土木構造物の震災特性	京都大学助教授防災研究所 工博 柴田徹	
	神戸大学教授工学部 工博 畑中元弘	

4. 鉄筋コンクリート建築物の震災特性

京都大学教授工学部 工博 六 車 熙

5. 津波の特性とその被害

京都大学助教授工学部 工修 森 田 司 郎

6. 十勝沖震災の实態について

京都大学教授防災研究所 工博 岩 垣 雄 一  
東北地方建設局企画室長 工博 井 田 至 春

4. 定 員：160 名

5. 聴 講：無料，来聴歓迎

(お願い) 各職場場で参加予定人員をおまとめのうえ8月20日(火)までハガキまたは電話にて土木学会関西支部までご一報下さい。

## (2) 講演会「近畿圏と奈良」

◀ 10月1日(火) ▶

共 催：土木学会関西支部・奈良県建設技術協会

1. 期 日：1968年10月1日(火)

2. 場 所：奈良文化会館小ホール 電話 奈良(0742)23-8921

奈良市登大路町 奈良県庁西隣

3. 題目と講師：

開会挨拶

10.00~11.00 ① 近畿圏の都市問題

土木学会関西支部長 米 谷 栄 二

11.00~12.00 ② 奈良市の街路計画

京都大学教授 工博 米 谷 栄 二

13.00~14.00 ③ 近畿圏の水問題

奈良県土木部長 福 崎 浩

14.00~15.00 ④ 近畿圏の交通問題

近畿地建企画室長補佐 上 林 好 之

映 画：治水関係

近畿地建奈良国道工事事務所長 高 野 浩 二

見 学：奈良地下鉄

閉会挨拶

奈良県建設技術協会会長 山 崎 陽 三

4. 定 員：300 名

5. 聴 講：無料，来聴歓迎

## 出版案内：関西の土木 100 年

関西支部創立 40 周年を記念して出版された本書は、古くから王城の地として絢爛たる文化が栄えた近畿—関西—一地方に、近代的な土木工事の手が加えられた跡をたどったものである。単なる関西地方の工事記録ではなく、日本の土木技術史の役割をも果たしており、鋭い見通しと最新技術で事に当った先人の偉業に鼓舞激励され、発展・改良・災害の記録に教えられるところが多い。ご一読をおすすめします。

体 裁：B5判 8ポ一段組 上製本 321 ページ 一部多色刷り 図，写真，表多数

内 容：第1章 国鉄/第2章 私鉄・地下鉄/第3章 道路/第4章 橋梁/第5章 河川—淀川の変遷/第6章 港湾—大阪港・神戸港/第7章 ダム/第8章 電力/第9章 上水道/第10章 下水道/第11章 地盤沈下/第12章 高潮/第13章 地震・風水害/第14章 教育/第15章 関西支部40年史

価 格：特別頒価 700 円 送料 100 円

## 騒音・振動公害頒布

本書は土木学会関西支部、騒音・振動委員会がこの2年間にわたり、主として建設工事、交通機関などによる騒音・振動について調査、研究した結果をまとめたものです。

役所でその処理にあられる方々や、工事の施工、計画、設計にあられる人達は直接役立つことを目標に書かれていますが、一般の方々にも啓蒙の書としてぜひ一読下さるようおすすめいたします。

内 容：総説/騒音・振動の測定法と測定計器/騒音・振動公害の実態/騒音・振動の影響と許容値/騒音・振動の軽減対策/付録(関係法規)

体 裁：B5判 8ポ一段組み 上製本 196 ページ，昭和43年3月出版

頒 価：1 000 円 送料 100 円

申込方法：ご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(郵便番号 537 大阪市東成区中道元町1丁目149番地，振替口座大阪 82599 番，電話 大阪(90)981-2510 番)へお申し込み下さい。

## テキスト廃棄予告

ぎづのテキストは昭和43年12月31日以降廃棄処分するかも知れませんから、ご入用の方は至急関西支部へ頒

価および送料を添えてお申込み下さい（先着順）。

最近の交通問題とその対策	(昭和 33 年度刊)	頒 価	400 円	送料	80 円
昭和 34 年度関西支部年次学術講演概要	(昭和 34 年度刊)	"	無 料	"	80 円
昭和 35 年度関西支部年次学術講演概要	(昭和 35 年度刊)	"	無 料	"	80 円
高速度計算機の土木工学への応用	( " )	"	500 円	"	80 円
海岸工学の最近の進歩	( " )	"	700 円	"	80 円
昭和 36 年度関西支部年次学術講演概要	(昭和 36 年度刊)	"	無 料	"	80 円
セメントコンクリート	( " )	"	225 円	"	80 円
溶 接 構 造	( " )	"	200 円	"	80 円
都 市 環 境 衛 生	(昭和 37 年度刊)	"	450 円	"	80 円
第 18 回年次学術講演概要 第Ⅰ部門	(昭和 38 年度刊)	"	350 円	送料学会負担	
" 第Ⅱ部門	( " )	"	400 円	"	
" 第Ⅲ部門	( " )	"	250 円	"	
" 第Ⅳ部門	( " )	"	300 円	"	

## 西部支部行事案内 (郵便番号 812 福岡市警固 2 丁目 11 の 12・電話 福岡 092-74-1972)

### (1) 夏季講習会

◀ 8 月 22 日 (木) ▶

1. 場 所: 大分県九重ハイランドホテル

2. 講習内容: 中級技術者を対象として下記のとおり

- |                                    |                   |         |
|------------------------------------|-------------------|---------|
| ① 開会のあいさつ                          | 支部長               | 村 上 正   |
| ② 県下の土木事業について                      | 大分県土木部長           | 小 原 豊   |
| ③ 大分臨海工業地帯の建設について                  | 大分県新産業都市建設局長      | 荒 田 哲 弥 |
| ④ 下釜ダム建設に伴う問題点 —ダムの基礎処理と長大橋架設について— | 九州地建松原下釜ダム工事々務所長  | 副 島 健   |
| ⑤ 下釜地下発電所の施工について                   | 九電大山川発電所建設所土木建築課長 | 大 橋 光太郎 |
| ⑥ 洪水と地下水                           | 熊本大学教授            | 藤 芳 義 男 |
| ⑦ 土圧の時間的効果について                     | 宮崎大学助教授           | 藤 本 広   |
| ⑧ 行列による骨組構造物の解析                    | 九州大学講師            | 太 田 俊 昭 |
| ⑨ 西鉄久留米駅高架工事概要                     | 西鉄臨時建設事務所工事 1 課長  | 安 部 重 彦 |
| ⑩ シラスずい道の設計施工                      | 国鉄下関工事局土木課長       | 森 野 亮 宏 |

3. 参 加 料: 1000 円

### (2) 見 学 会

◀ 8 月 23 日 (金) ▶

1. 場 所: A 班 九重発～松原下釜ダム～池ノ山橋見学～日田駅前解散 (12.00 頃)

B 班 九重発～大分市展望台～埋立 2 号地～同 1 号地見学 大分駅前解散 (12.00 頃)

2. 参 加 料: A・B とも 500 円

### (3) 映 写 会

1. 8 月 21, 22 日夜九重ハイランドホテルにて, 松原下釜ダム建設記録, 東名高速道路など映写予定

2. 参加料 無料

### (4) 参 加 申 込

1. 申込書に勤務先, 氏名を記載の上, 講習会, 見学会, 参加料および宿泊予約料を添えて支部あて申込むこと

2. 申込書には宿泊日 (21 日, 22 日) および見学会 (A・B 班の別) を明記すること

3. 宿泊予約料 300 円 (1 泊 2 食 1000 円当日払, 予約料はその内金とする)

4. 申込期日および定員 8 月 5 日まで 150 名 (先着順)

5. 申込先 福岡市警固 2 丁目 11 の 12 土木学会西部支部 (74-1972)

6. 申込書は各機関の長あて発送するが個人その他の向きは支部に請求されたい (便宜用紙にても差し支えない)。

7. 参加中止の場合, 参加料および宿泊予約料は返却せず, ただし講習会テキストは送付する。